

平成29年10月7日

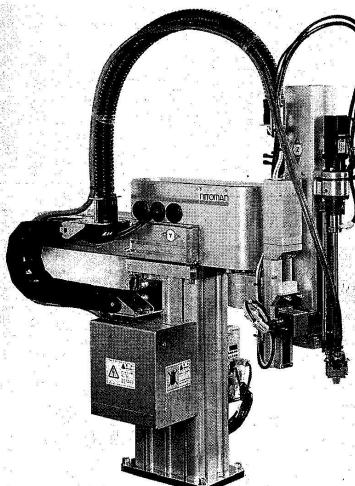
「ファスニングジャーナル(1面)に掲載されました

産度の自動化機械を開発。以来、ねじ組みロボット、ねじ組みドライバ、ねじ供給機など締結に関する省力装置を手掛け、世界中の組立現場をサポートしてきた。これらの製品は、厳しい品質管理を要求される自動車関連を筆頭に、家電、OA機器、住宅設備、遊技機などと業界を問わず幅広い分野で活躍する。「ねじ付付け機の日東精工」に位置付けられる△業界を牽引している。そのような中、自動ねじ締め機の更なる進化を求める満たすべき位置補正力マストの搭載老オプション)機能とした「Y9型ねじ締めロボット(ねじロボ<sup>(9)</sup>)」を10月1白から受注開始。

同社は、工業用ファスナー(ねじ)のトップメーカーであり、締結部品・装設装置の両面からファスニンク・ソリューションによるねじ組み最適化を提案し、モノづくりの高度化を支援していく方向である。

**[製品開発背景]**

製品の多種多様化が進むにつれ組付対象部品の形状が複雑になると正確



日東精工が新発売のYθ型  
ねじ締めロボット

ークもカメラで補正し、自動機導入のツートを開発。10月1日から愛注生産展においてデモ演がなされ、備えなツールとして高評価を受けていた。

日東精工

**搭載力メラが高精度実現**

# 位置補正ねじ締め口ボルトを開発